5月25日 水曜日 24日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋(56)8646
（直通）販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話（代表）芝(43)1163
東京 振替貯金口座 170071

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3106号（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232号）
（中華郵政台字第637號執照登記為第2類新聞紙類・内政内警台誌第0136号）

あすの暦 5月25日・水 旧暦4月4日 月齢 3.3 日出 4.30 日入 6.46 月出 7.42 月入 10.11 満潮 前 6.35 後 8.45 干潮 前 1.05 後 1.35（中潮）

天気予報
今晩 北東の風晴たり曇たり
明日 北一時南東の風晴、時々曇
時報【全国概況】千島方面の高気圧が東日本を覆っており満州方面には低気圧が停滞している、このため全国的に晴たり曇たりの天気

4版

四者会談 閣内に批判の声
一部の独断専行 旧改進系閣僚詰め寄る

廿三日の民自両党四者会談は保守結集の原則論では意見が一致したが、鳩山首相の引退を前提とする保守結集の時期と方法、予算審議の時期などについて何ら具体的な話合いがつかぬままに会談を終っているが、この会談が鳩山内閣の今後のあり方や国会運営に及ぼす影響を重大視し、廿四日の閣議席上松村文相、三木運輸相ら旧改進党主流派閣僚から四者会談の真相究明について発言があった

松村文相は四者会談が当面の予算審議にいかなる好結果をもたらしたかという立場からただし、三木運輸相は党の一部首脳が一方的にこのような会談を取運び政府との間に事前連絡がないとは政府与党一体の対国会対策に大きな支障を招くとして党首脳の独断を責めた

しかしこれら発言の出た時には鳩山首相が参院外務委員会に出席して席をはずしていたため首相の意向がたしかめられず、また根本官房長官も具体的な事務報告を受けていないと答えた、よって政府としては同日正午鳩山首相以下の全閣僚懇談会をひらき、三木総務会長、岸幹事長を招いて四者会談の内容と今後の保守結集の方途などについて説明を聞いたが、松村、大麻、三木氏らの旧改進系閣僚の態度はきわめて批判的であった

減収加算を正式決定 閣議

政府は衆院予算委員会で野党側の集中攻撃をうけ政治問題化した廿九年産米の減収加算として、石当り百四十円総額卅三億円を食管特別会計から支出することを廿四日の閣議で了解した、閣議ではまず河野農相から減収加算についての経過を報告、政府として次のような措置を取ることになった旨了解を求め、各閣僚もこれに署名して同意した

一、廿九年度玄米に対し石当り百四十円を減収加算する
一、食管会計特別予算成立後実施する
一、同支出は食管特別会計のワク内で操作し一般会計には影響させない

予算審議再開 牧野委員長の「不信任」も取下げ

野党三派では廿四日正午過ぎから衆院の予算、農林両委員会の理事および国会対策委員による連合協議会を議長サロンで開き、減収加算問題を協議した、席上廿九年度産米の減収加算については石当り百四十円、総額卅二億九千万円を支払うという閣議の決定事項について根本官房長官から説明をききさらに食管会計の赤字補塡の方法などについて検討した結果、これを了承、同日午後の予算委員会で一万田蔵相、河野農相から正式に回答することにより予算審議を再開することになった

また牧野予算委員長の不信任問題も予算委員会理事会で協議した上同委員長の釈明のみで不信任案を取下げることになった

首相日ソ交渉で言明
領土・漁業を解決 難しい部門は後回し
参院外務委

参院外務委員会は廿四日午前十時十分開会、鳩山首相、重光外相の出席を求めて日ソ交渉を中心に羽生三七、佐多忠隆（左社）両氏が質問した、この答弁で鳩山首相は❶国交回復は領土、漁業などの諸懸案解決が目標である❷しかし領土問題の解決困難な点については国交回復後に持越すこともありうる、旨を明らかにした

参院外務委員会における主な問答つぎのとおり

羽生氏 保守合同についてどう考えるか

鳩山首相 いま考えている政策を実行するまでやめる考えはないが、保守合同ができて適当な後継者があれば固執するものではない

羽生氏 日ソ交渉に臨む方針はどうか

首相 領土、漁業などの懸案を解決して国交を回復するのである

羽生氏 たとえば領土問題などで留保条項をつけて国交回復を行う考えはないか

首相 領土についても簡単に話のつくものもあろう、しかしまた面倒なものもあろうから領土問題だけはかたづけたいと一言ではいえない

重光外相 結局日本の打出す条件が通ったのち国交回復するのか、それとも先に回復するのかということに帰着すると思うが、交渉を前にしてハラの内を明らかにするわけには行かない、やさしいことは国交を回復しなくても事実上やって差支えないと思う、しかし国交正常化には自ずから国際間にしきたりがある、戦争状態から平和関係に入るのだから平和条約を締結するのが常識である、この場合相手国の領土がどこまでなのかといった基本的な性格を明らかにする必要がある、重要な問題について相互の了解を得ないで平和条約を締結する訳には行かない、しかし全部了解が出来ない場合そのまま放棄してよいかどうか、なにか他の方法を考えねばならない情勢に追込まれることもあり得ようが、その時は改めて考えればよい

日ソ復交へ超党決議案 右社で提案へ

右派社会党は廿四日午前の国対委で、日ソ国交回復にたいする態度を協議した結果つぎのことを決めた

一、日ソ国交の基本方針について本会議で政府の説明、報告を求め、これに対し各党代表質問を行うよう廿四日の議運で要求する
一、日ソ回交に関する決議案を超党派で国会に提出するよう各党に呼びかける

自、党首会談を拒否 両社は廿五日会見申入れ

政府は六月一日から開始される日ソ交渉に先立ち鳩山首相と各党首との個別的な外交懇談会により超党派的に国論を統一したい方針で野党各派に対し呼びかけているが自由党は鳩山首相が外交方針を変えない限り党首会談には応じられないとの態度をとっているので日ソ交渉開始前の各党首会談は危ぶまれている、両派社会党はこれを応諾、鳩山首相と河上、鈴木両委員長会談を廿五日開きたい旨申入れた

しかし自由党は幹事長会談か国会対策委員長会談ならともかく、いきなり党首会談に持込むことは妥当でないとの態度をとり、しかも首相が本会議或いは予算委で二元外交方針の修正を言明しない限り外交懇談会に応じ難いとの態度を示している

ユーゴを訪問 ギリシャ軍首脳

【ベオグラード廿三日発AP＝共同】ギリシャの陸軍参謀総長ドヴァス中将ら軍事使節団一行は廿三日ソ連首脳のユーゴ訪問に先だって公式にユーゴを訪問した

売春案の国会提出 四婦人議員ら首相、法相に要望

赤松常子（右社参）山口シヅエ（右社、衆）戸叶里子（同）平田ヒデ（同）の四婦人議員および売春禁止法制定促進委員会傘下の民間婦人団体代表福田勝女史ら八氏は廿四日午前九時院内に鳩山首相、花村法相を個別に訪問、売春取締法案を今国会に提出するよう要望した

政府は内部の売春問題対策協議会（委員長山崎佐氏）にはかって二三日中に売春取締の法案を政府提出法案とするかどうかの態度を決める

写真は鳩山首相に陳情する売春禁止法制定促進委員会の婦人代表

米、99年の地役権望む 沖縄土地問題

【ワシントン廿三日発AP＝共同】沖縄の土地問題について米当局と話合うため比嘉琉球政府行政主席一行六名が廿六日ワシントンに着く予定であるが、これについて米政府筋では廿三日、沖縄土地問題解決のためにあらゆる努力をするだろうと語った

比嘉主席一行は来週米下院軍事委員会に出席し沖縄の米軍が軍事基地用として五万二千エーカーの土地を徴用していることについて抗議することになっている

国防総省でもこの公聴会に対処する準備を進めているが、同省の意向は土地の買上げよりむしろ九十九ヵ年の地役権をねらっているもようである、スティヴンス陸軍長官は前に米軍事当局は土地購入費として卅万ドルの支出を要求していると語ったが、官辺筋によると国防総省ではこの支出要求は沖縄の地主にたいし、現在の借上条件よりもよい補償を与えるためであるとしている

いずれにしても国防総省の立場は公聴会で発表するため目下起草中の声明で明らかになるとみられる

来月訪米か ア西独首相

【ボン廿三日発UP＝共同】西独政府筋が廿三日伝えるところによれば、アデナウアー西独首相は六月米国を訪問、アイゼンハワー大統領と会談するものとみられる

世相風誌 姿なき競馬

花のトウキョウの ドマンナカ
飲み屋なんかに かこまれた
小さな 空地に うずくまり
老いも 若きも 思案顔

見れば どこにも 馬場は なく
馬 一匹も いないのに
これが 競馬のファンだとは
オシャカ様でも わかるまい

もちろん 馬場がなかろうが
サラブレットが 走ろうが
そんなことより 今 買った
馬券の 数字に 配当が
つくか つかぬかが 大問題
欲望という名の 馬券場

（近藤 東）

ビルマ政府と日本業者の 直接取決め同意
賠償実施・話合い進む

【ラングーン廿三日発ロイター＝共同】昨年十一月ラングーンで調印された賠償協定の実施について日本大使館とビルマ政府の間に話合いが行われていたが、官辺筋から廿三日知り得たところによれば日本側はこのほどビルマ政府が直接日本の製造業者と取決めを結ぶことに同意した

日本側はこれまでビルマ側が日本政府を通じて賠償事業請負業者を選ぶよう主張していた、これにたいしビルマ側は西独とイスラエルの間の賠償協定の例をもち出してビルマが直接日本の会社と取決めを行う権利があると主張、この点を確かめるため最近調査団を西独へ派遣したこともあった

日本側はまた財政上の都合で本年度支払予定の二千万ドルを一千五百万ドルに引下げようと考えているとの報道があったが、官辺筋によれば、ビルマ側は日本が協定を忠実に守らなければ目下行われているフィリピンとの賠償会談にも重大な影響を与えるだろうと指摘して全額支払を主張した

なおもう一つ残っている問題はビルマで賠償事業に従事する日本の技術者にたいする給与で、日本側はこの給与の水準を普通の場合より高いところに落着けようと希望している

討議に十分な時間を 巨頭会談に英首相言明

【バーミンガム（イングランド）廿三日発ロイター＝共同】イーデン英首相は廿三日、バーミンガムで選挙演説を行い、四大国巨頭会談などについて次のように述べた

一、英政府は来るべき四大国巨頭会談の場所や期間についてなんら固定した構想をもっていない、私としては会談に十分の時間がかけられることを希望する、この問題についてソ連政府がプラウダ論説で明らかにしたような見解を表明することは不当ではない
一、巨頭会談開催の目標は東西両陣営間の友好関係増進への道を開く一連の交渉を始めることにある、ソ連政府が西欧側の正式招請に対する回答について決定を行うために時日を要するのはきわめて自然である

はなし千両
粋人酔筆

いろんな地方にそれぞれ面白い、いろんな昔話があるものだ。最近よんだ「おきのえらぶ昔話」は、ある篤学の士が沖縄本島にほど近い沖永良部島の古老から聞き書きした昔話が、九十余篇も集めてあって、その島のことばをなるべく使ってあるだけに、ひとしお風格を与えていた。その中に「話千両」と題して二つの話がある。短い方の話は次のようで、内地にも類話があったと思う。

亭主が友だちと長い旅に出て、家には妻と母とを残した。やがて故郷へ帰るに際し、テーチ屋でテーチ話を土産に聞きに行った。（テーチ話とは一種の寓話、または単にためになる話であって、英語のスピーチと語呂が似ている方言で面白い）

と、テーチ屋は「張いた弓やめれ、沸きた湯は冷ませ」といったきりで、一人廿銭、二人で四十銭払わせた（この金額もきっと時代によって変るのだろうが、その時代としての高額を示すのだと思う）さて、二人が家へたどりついて戸をあけると、あろうことか妻が坊主と同衾していた。かっとなった亭主は、やにわに弓を張ったら、友だちが袖を引いて注意した。亭主はテーチを思いだして弓をおさめ、心を静めて声をかけたらば「さても吾子よく帰ってきた」と頭を剃って坊主姿になった母が起きた。母は若い妻が他人に犯されぬためにと男姿になっていたのだ。テーチのおかげで危いところを助かった（この話からみても夜這いの盛んな南の島が想像される）

もう一つの「話千両」は、原話が長いので簡単に縮めて紹介をする。ほのぼのとした話である。一人の少年が、寺の和尚から学問を習っていたが、正月で郷里へ帰ろうとすると、和尚が「お土産に、宝をやろうか、それともテーキ（前のテーチと同じくためになる話）がいいか」といわれ、後者を選んだ。和尚は「これから故郷へ向っていくと、大きな田で爺と婆あが稲を丸けているから、疲れていても手伝ってやれ。その先へいくと、雷は鳴る雨は降る。まちがっても岩の下に隠れるな。また行くかい行くと、二人の女ばかりの家に泊ることになるが、眠は眠っても肝は眠ぶんな。さらに行くかい行くと、夜の暗がりに男女八人が、野原の家へ寝に行くのに出会うが、その家でも眠は眠っても肝は眠ぶるなよ。それから高い坂を汗はり水はり登ると松の木があるが、涼しいと思って近よるな。そうして郷里へ帰って親グント（見参）せよ」といって、九寸九分ユリ落しヌヨバイの脇差をくれた。

少年はそのテーキをよく覚えて旅立った。まず爺と婆の稲刈りの手伝いをしてお礼に命の危い時にあけてみろ、と竹筒を貰う。次に雷雨のため岩の下で雨宿りしようとしたが、和尚の言葉を思い出して、別の榕樹の下にいると、岩に落雷して岩の下にいた者たちは死んだ。母娘の二人の家に泊ると、夜半に天井から大刀が下って来たから、となりの娘の床と入れ代ったら、娘が刺されて死んだ。竹筒をあけるとヤスリが出たので、それを使って錠を切って逃げだした。（このあたり、安達ヶ原の鬼婆的だ）次に夜、八人の男女に出逢うと、化物がいるという家で、少年は協力して退治したら千尋もあるムカジ（百足）だった。最後に坂を登って松の木の下で、うっかり汗をぬぐっていると、大蛇に食われそうになった。少年はひと目故郷の親に逢ったら、必ず食われに戻ると約束して（何とまあ律義なことよ）故郷へ行くと、親たちは嫁を持たせた。夫婦で大蛇のところへ戻り、新妻は「死ぬ前に宝くらべをしよう」といってまず裸になってほとを（方言ではビビ）見せると、大蛇は赤い鞭と青い鞭を見せた。青い方で打つと死に、赤い方で打つと生きるという。素早く大蛇を青い鞭で打って殺して切り割くと、尾の所から一本の刀が出た。（ヤマタのオロチみたいだ）夫婦はそれを持って帰り、和尚に渡すと、和尚は殿様に上げた。夫婦は殿様からごほうびに千両もらって幸福に暮した。

岩佐東一郎

市況 コゲ付商状

貸出金利引下げの本ぎまりも市場には響かず一般は政局の展開待ちで見送り人気一層深めて市況は引続き閑散保合の場面を続けている、特定株は海上に合同の五千売が目立つ程度で動意全くなくコゲ付商状、雑株もきのうに続いて西武、日鉄鉱など地場株の一部が小口売に五－八円方下げている他はほとんど一、二円幅の小浮動に止まっており、全般に気乗薄商状

▽安い株＝日鉄鉱八円、西武五円
▽高い株＝三井不五円

東京株式仲値
□新株落△配当落（24日前場終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		東高圧	117	旭化成	319	カボン	49
東海上	276	昭電工	81	山陽パ	99	三井物	133
郵船	55	日本曹	77	日本パ	91	第一物	97
新三菱	90	旭電化	—	国策パ	98	白木屋	—
日清紡	263	三菱造	74	東北パ	112	高島屋	79
味の素	287	三井造	105	大東紡	94	日活	82
三越	278	三菱重	60	商船	50	松竹	198
平和不	196	石川重	89	三井船	46	東宝	1260
三井金	109	精工	135	飯野海	42	大映	172
三菱金	85	東洋ベ	111	西武	345	日本粉	121
日鉱	78	日立造	45	藤田興	218	日清粉	149
住友金	95	浦賀	44	東京ガ	65	日本ビ	147
三菱鉱	41	日平	23	東電	429	朝日ビ	173
古河鉱	59	古河電	67	日銀	—	キリン	192
同和鉱	110	日立製	68	東銀	81	宝酒造	83
住友炭	56	東芝	66	三井銀	70	台糖	216
三井山	55	三菱電	86	富士銀	89	明糖	111
北海炭	49	小松	61	日証金	86	甜菜糖	116
東邦亜	61	日本光	137	安田火	109	野田醤	188
帝石	63	キヤノ	143	大正海	86	森永	275
日石	94	東京光	—	住友海	77	明菓	164
昭和石	96	東洋紡	133	千代田	74	日水産	76
東燃	113	鐘紡	113	鋼管	64	昭和産	90
三菱石	106	富士紡	109	日製鋼	63	東洋醸	71
大協石	118	大日紡	78	八幡鉄	51	合同酒	103
日東化	71	日東紡	60	富士鉄	49	三楽	82
日産化	75	片倉	34	神戸鋼	56	大阪糖	150
三菱化	99	東邦レ	104	日特鋼	125	王子紙	204
三井化	108	帝麻	65	日軽金	173	十條紙	213
協和醗	107	中誠	55	日金工	55	本州紙	87
東合成	110	帝人	120	日セメ	124	三菱紙	87
三共薬	138	東洋レ	169	磐城セ	229	北越紙	50
信越化	83	三菱レ	122	小野田	78	三井不	773
		倉レ	83	横浜ゴ	207	三菱倉	496
				旭硝子	139	三井倉	80
				富士写	117	澁沢倉	84
				小西六	106	東洋埠	180

内外抄

陛下ご大儀でごんす、これからも時々どうぞ－相撲協会。手前方にもどうぞ－プロレス協会。

◇

民主党、保守結集に常置機関設置を提案。だが〃保守結集の機関車〃は軌道に乗るかね？

◇

減収加算で折れた政府、こんどは予算審議促進で各党詣り、野党－「ご苦労く」

◇

英国の総選挙せまる。前景気は保守党が絶対有利。イーデンさんが羨しい－鳩山首相。

◇

そろ〱アユの解禁。「生育は上乗」と誘いの情報しきり。躍る心、躍る銀鱗。

なにがし川柳 吉田弁司選

嫁ぐ日が近くエロ本読みふけり 品川 蝸牛
どぶ拾い馬鹿くさくなる汐干狩 江東 釜谷一輪
糸切りとキッスを出つ歯使い分け 日本橋 式部 新路
浪人をして節穴の数も知り 新宿 琴之助
どん底の生活を嬉に導かれ 市川 初山火治朗
釣り船に無駄でも候補ぶつて見る 葛飾 江戸川遊水
【賞】ほくろまで知り合つていて式を挙げ 杉並 吉岡 善雄

青春無宿（15）
大林清 作　下高原健二 画

銀座の奇蹟（九）

「今こちらへ見えますから、どうぞしばらくお待ち下さい」

男は自分の口から説明することを、いともいんぎんに拒絶した。

次郎の服装はおよそこの場の空気にふさわしくないものだったが、御当人は一向頓着なく泥靴の脚を組んで、新生の紙臭い煙を吐きはじめた。もっとも少年時代には父の宇田伯爵につれられて、よく食事になど来た場所である。正面の大食堂のテーブルに、学習院の制服を着て、かけていた紅顔の少年を想い描くことは容易だった。

ロビイの奥から小肥りなからだを白の背広に包んだ中年の人物がファ・ソロジェムとつれ立って現われた。

残っていた男はいそいで席を立った。

「お待たせしました」

ソロジェムがそう声をかけたので、次郎も一応の礼儀として立ちあがった。

新しい人物は黒眼鏡をかけているため、表情はよくわからないが、口もとに親愛を示す微笑をうかべていた。

ソロジェムはまずその人物に外国語で何か云った。次郎の耳にはフランス語に聞えた。

「宇田さん、御紹介しましょう、この方はわれわれの主人シァン・ヴァルマン氏。御内聞に願いたいのですが、もと仏印ヴェトナム政府の大官だった方です」

シァン・ヴァルマンはうなずいて見せながら、次郎へ手をさしのべた。指に大粒のダイヤの光っている手だった。

次郎は仏印という国のことを、新聞で読む以上には知らないが、北ヴェトナムはホー・チミン軍の席捲するところとなって、ヴェトナム民主共和国が樹立され、南ヴェトナムは内乱の渦中にあると聞いている。

「どうぞ、かけて下さい」

ヴァルマンは三人の部下にはるかに及ばない日本語をあやつり、自分も次郎とむかいあってかけた。

「わたしのおじ、あなたのお父さん宇田伯爵をよく知っています。偶然のことであなたにお目にかかれて非常に嬉しいです」

ここへつれて来られた理由の一つが、それで次郎にもようやく飲みこめた。大正年代にアフリカ探検を行った父の清隆が、仏印、マレー、スマトラなどの南方各地に足跡至らざるないのは当然だったその頃は華冑界の名門だし、一等国日本の繁栄を背中にしていたので、行く先々で枢要な地位にあった人物と、交歓したことは想像するにかたくない。

「お父様御健在でおいでしょうな」

ソロジェムが口をはさんだ。

「沼津にいます」

「ヌマズ？」

ヴァルマンは、ソロジェムをかえりみた。

「東海道の 熱海の先で ございます」

「ああ、熱海のね、そう」

と、黒眼鏡の奥からの視線を、次郎へもどして、

「あなたにお願いしたいことがあります。わたしの日本語あまり自由に話せません、ファ君日本育ちだからたいへんうまい、よく話聞いて下さい」

現われたのは顔を見せるためだったらしく、うなずきながら立ちあがると、席をはなれて行った。

「シァン氏は昨年の秋、仏印から日本へ亡命されて来たのです。親仏派の巨頭と目されていたものですから、共産系のホー・チミンににらまれましてね」

ソロジェムが膝を乗り出した。

ジグザグコース 十二万人の私娼

公娼制度が廃止になってから、やがて十年になる。制度がなくなったから「公娼」はない建前ではあるが、代って私娼というものが、甚だ多くなった。

労働省の調査では全国の売春婦は、去年現在で十二万四千人に達するそうだ。通称〃赤線区域〃に住む婦人を指しているのだろう。全国のいたるところにあるこの特殊地区に、これだけの職業婦がおり、それが黙認の形で、いまわしい職業を立てているとしたら、一体どういうことになるのか。

つまり制度としての公娼はなくなったが、私娼が暗黙の下に許されているのと同じことになる。結局は制度上存在するのと何ら異なるところがないということだ。公娼廃止はそれでは空名に過ぎぬ。

婦人議員団では二、三年前から売春処罰法案を作ろうと努力してきたが、一方の反対論も強いために、いままでお流れになっていた。

ところが先日鳩山首相が同法があった方がよいと述べたのに力を得て、神近市子女史らの音頭取りで、今度こそは物にしようと、再び活発な活動を始めだした。

処罰法といえば業者、売春婦、その相手に対し罰金を加えるか、重い体刑を課すことによって禁止しようとするわけだが、刑罰が重いから、それに堪えかねてこういう売春行為が果してなくなり、職業婦が跡を断つだろうか。そうは行かぬようだ。というのは刑罰を設けても忌わしい職業婦が生れてくるような原因はなくならぬ。これには生活問題がある。男女間の性の問題もある。根本的にはそういう厄介な問題があるから、この方を先きに解決することが大切である。

それを解決しないでおいて、生れてきた職業婦や業者のみを処罰することは、売春問題の解決には消極的な効果しか望めない。つまり処罰法を作る以前の対策が実はより大切なのである。

だがそれはそれとして赤線区域の過剰も、実のところ眼に余る。これを減らすのも、伝えられる処罰法も差当りの方策としてむろん必要だ。（弘）

【写真は神近市子女史】

トウキョウの基地?目黒

"風紀紊乱"の投書続々

路上で絡み合う男女

簇生した"外人バー"十数軒　三幸街に批判の目

「目黒駅付近のバーは堂々と外人相手の売春をやり風紀を乱して困ります」との投書が最近所轄大崎署にずいぶん舞込んでいる、それを裏書するかのように目黒駅付近にはWELCOMEと綴った横文字が眼につき、そんなバーが十二軒もあるんだから恐れ入る、ネオンの灯ともしころには、アチラさんと女給のたわむれる姿はなんかトウキョウの基地といった錯覚を起させることもある、その昔目黒駅界隈といえば屋敷町、洋裁学校などあって"お嬢さんの駅"といわれていただけに、昨今の変りようはご時勢とはいえどこか歯のういた感じだ、以下はそんなところにポイントを置き、汚された目黒駅界隈を探ってみた

変貌した三幸街

逃げ出す日本人客

横文字をつらねた外人相手のバーができたのは朝鮮動乱停戦の二、三ヵ月前、こゝには戦線帰りの休暇兵の宿舎や、料亭"G"があったのでそれが糸口?となって飲屋横丁三幸街に外人相手のバーが店開きしたが、続いてできたGホールはパートナーがいなければ入れないとあって、ここの女給さんがパートナーとして狩り出されたわけ、この狙いがズバリ当って七、八人の女給さんも毎晩休む暇もないほどの繁昌ぶり

パチンコ屋がふえるのと同じ理屈で一軒が当るとソレッとばかりわれも〳〵と外人バーへの転業者があとに続き、今年初めには十二軒となった、それでも足りず、いま営業許可申請願が二軒出ている始末、さてこゝで働く女性の数はザッと六、七十人、身入りがよくみんな懐がホクホク暖いとの評判だ

昨年あたりはこの外人ブームをかぎつけて、新宿、渋谷あたりからパートナー志望の女や、夜の女までこの界隈に押しかけて、路上でキャッチ合戦を演じたほどだ、この女達はバー業者の反対運動でシャットアウトされ、いまでは現れないが、土地の娘さんが女給と間違えられて路上で誘われたこともあったという

こんな基地風景を付近の人はなんと見ているか—三幸街某飲屋のマダムは「酔った外人や女達が路上にまで出て、ふざけているんで、折角来た日本人の客が逃げてしまうんですよ、お蔭で私達の店はあがったり、一緒に出かけるのもホールへ行くのやら、ホテルへ行くのやら、判ったもんじゃない」と洩らし

また表通りの某商店の主人は「どうもね、兵隊と女が堂々と腕を組んで歩かれたのでは、土地の娘達にも悪影響があって…」と、いずれもいい目では見ていない

昼間から"ハロー""OK"の連発

この中心街、いわゆる三幸街は道巾一米半位の狭い路地、十数軒のちっぽけな飲屋が軒をつらね、うち五軒が外人バー、このほか駅前大崎署派出所裏の一郭にアチラ専門が七軒ある—二、三坪の狭い店内には"ウエルカム・ダンス・アンド・ドリンク"をそのまゝあくどくルージュした、七、八人の女給さんがひしめいている

そして昼間からOKとか"ヘイ""ハロー"の連発が賑わいネオンが灯る頃ともなると宛然たる基地風景が展開される、そして気分が最高潮に達すると腕を組んでディアー・パートナーよろしく、Gホール行と相成る

連出し料千円は当然　某バーのマスター談

このバーはビール一百円というから高くはないが、兵隊が女を連れ出す場合、店に千円支払うという仕組みらしい、ところでこれらかんばしからぬ噂に対して、交番裏某バーのマスターは「とんでもない、女はホールへ同行するだけ、千円戴くのは店で働く時間に外出するのだから当然でしょう」と否定している

売春形跡なし　大崎署談

所轄大崎署ではどう見ているか「朝鮮動乱のあった初めのころはホールへ行くという名目でホテルなどへ行っていたらしい、その後特に注意しているが、売春の形跡はない、昨年上目黒のIホテルで売春現行で検挙したが、これは新宿から来た女達だった、この種の店は今後も増える傾向にあるから、特に風紀取締について業者にも注意をうながしている」と同署保安係ではいっている

風流世界譚

……(日本)……

社長の洋行を羽田まで見送りに行って来たある男、同僚に訊ねられ出発の模様を語ったあと羽田についてひとくさり「ハネダ空港というのは、世界的な密輸ルートで"見えざる密使"というのが、年中乗り降りしてるんだそうだ、密輸品の第一は腕時計、その次が宝石、貴金属、麻薬、ヤミドル、金塊だそうだ、乗客名簿の携行品と照らして、一人々々身体検査をするンだが、柄にない男で、職業が貿易商なんてのは大抵あやしい、何かしら隠しているそうだ、男なら洋服の肩のところ、股の間、靴の中、女ならコルセットやヒップパットの内側、そこまで脱がして調べるには、余ッ程確信がないと人権ジュウリンになるんで…うむ、そうそう、この間、月経バンドの中に男物の金時計を、五十も隠していた女がいたそうだよ…」

そこまで話してくると聞いてた同僚「そうか、それなんだナきっと、おれが買わされた時計は…」というので「どうして?」ときけば「だってさ、毎月きまってとまっちゃう、生理休暇らしいんだよ」

あすの運勢　＝五月廿五日＝　高島象山

▲一月生—何事も思う事叶い商売繁昌あり就職開業移転造作はよし
▲二月生—目標を定めて一筋に努力すれば平穏の内に稼業繁昌あり
▲三月生—物事に浮沈を生じ変化が起り易いから消極的に自重せよ
▲四月生—経済的に有利の義ありて商売繁昌あり交渉る開店よし
▲五月生—事業進展ありて利益多き日柄なれば新規事業を起すに吉
▲六月生—物事強引にして事を破り剛情にして和を缺き失望有易い
▲七月生—何事も順調に進展し商人は思想的に成功あり社交有利也
▲八月生—技術を発揮して努力して効多し積極的に活躍して利多し
▲九月生—男子は外に女性は内に共に悩多し親類身内の事で心配有
▲十月生—気運旺盛で商売繁昌あり遠方の取引に利多し旅行はよし
▲十一月生—政策に囚われず現実的に活動して有利なり移転開業吉
▲十二月生—何事も自然の成り行きに任せ保守的に努力して無事也

日本版キンゼイ報告

米誌に載り話題まく

キンゼイ・リポート以来、イギリスやソ連など各国の性生活リポートがわが国に持ち込まれているが、こんどは反対に日本人の性についての記録が、初めて米国の雑誌に公開され話題となっている…この雑誌とは創刊廿二年の歴史を誇るアメリカの性科学雑誌「セクソロジー」で日本における性生活が特集されたもの、筆者は日本の精神分析学者高橋鉄氏で約一千名の男女について性慣習と活動の調査を行った結果を要約したものである

このなかには男女の間にいかなることが行われるかをはじめて知った年齢は平均十一年六ヵ月で、その原因は会話(二〇%)自分で考えた(一八%)書物、絵(一六%)近所の子供(一一%)遊戯(七%)級友(五%)行動目撃(四%)使用人(三%)上級生(二%)親戚の人(二%)などがあり「最初の経験とその反動」では男性の場合、悲哀(期待はずれ、後悔、感じが少い、淋しい等)七五・四%喜び(征服感、信頼感、安心感)二二・二%、その他二・四%となっているが、女性の場合は軽い痛み三五%、激しい痛み一二%、無痛一六%、快感があったもの一九%、不明一八%という数字がでている、このほか「男は何を知らなかったか」「女は何を知らなかったか」などがある

SEX BEHAVIOR IN JAPAN

公開記事と高橋鉄氏(円内)

夏の味　小あじ

え　島村舜児

春すぎて夏きたるらし白妙の富士山の雪が、だんだんとうすれてゆくころは、小あじのウマイころである。湘南、葉山あたりは小あじ の釣場として 有名だ。沖に出て、釣たてのを頭、腸を去り、ゼンゴを取って、三枚におろし、皮をむいて、舟板をマナ板がわりに、出刃の峯でトントンとたたいて、酢味噌でたべる、沖なますの味は格別なもの、思っただけでも胃の腑がおどりだしそうである。

また頭、腸、ゼンゴを取って出刃でたたき、辛味噌、酢、青紫蘇の実、生姜を交ぜたのを、程よくたたきこんだのがまたウマイ。口の中でポリポリと、骨の音の伴奏があって、一だんとこの料理の味を引立ててくれる。

これにたべあきたら、たたいたものを、笹の葉に包んで、炭火で焼く。一見粗野ななかから、淡々と初夏の味覚が溢れ出ようというものだ。この小魚を「あじ」とはよくもウマイ名をつけたものである。(品川居)

赤線今昔 (その13) 回向院前

相当古い土地名

俗称"土手側"金猫に銀猫遊び

両国の回向院前というと、国技館を思い出すが、娼家のあったのは、"両国橋によった東両国一丁目の回向院よりの一角(旧元町)から、右裏手の方へかけてであった、この裏手は大徳院門前町と昔は呼んでいた、寺と道との境をする為に土手を築いたのでその土手に面した所に娼家があったため土手側と俗称していた、そして娼婦の遊び代は十五匁とその半分の七匁五分と二口あった、十五匁の方を金猫、半分の方を銀猫といっていた

享保五年には、この土地の名が吉原の書上げに出ているから相当古い、吉原の書上げというのは、私娼窟に怪動といって、その筋の手入れがあって、挙げられると、それ程に男相手がしたくばさせてやろうと、吉原へ無給金で女郎の勤めをさせられるので、私娼のいる土地は記録されているというわけなのである

この土地は金銀の値段の違いがあるように、場所にも新旧があって、古長屋というのは金猫がいて高い方で十軒ほどあった新長屋という方は五軒あり、これは安い部で、芸妓や娼婦は一ツ目弁天の側の八幡のお旅所にいるのを呼んできたものだそうだ、ここもどんちゃん騒ぎをすることは禁じられていたので、静かな遊びであったそうだ、古川柳では

回向院ばかり浮槃に猫も見え

お釈迦さまの涅槃の図には、いろいろの動物が描かれているが猫だけはいないというのが知られたことであるが、回向院で見せる涅槃の軸には、金猫銀猫も見えるといった

回向院仏餉猫の値を聞かれ

回向院から修行僧が、江戸の町を鉢を持って歩いた、その坊さんをつかまえて、お寺の前の金猫銀猫の遊び代は幾らなんだか知ってい ますかと 聞かれて坊さんタジタジというところである(尾)

【写真は元の回向院の右角と元町の一角】

—完—

モダン歳々記　あぶな絵の豊信

天明五年五月廿五日、紅絵時代の浮世絵師であぶな絵の名手だった石川豊信が七十五歳で没し、その墓石は今も浅草黒船町の正覚寺にある。豊信は絵を西村重長に学び、馬喰町の旅人宿糠屋の養子となり、明條堂秀館と号していた

が、ちょうどこの時代は枕絵の刊行が急に喧しくなった頃で、それまでは公然と枕絵を描いていた浮世絵師も筆を折らざるを得なくなり、代ってあぶな絵という、入浴や更衣で白い肌をみせた半春画的挑発画のあぶな絵を思いついて、これに主力を集中していたのだった。

豊信は奥村政信、鳥居清満、同清広、少しおくれて鈴木春信などとともにセッセと、風に吹かれて四肢をみせた女や、前をはだけて濡れた腰巻をしぼる海女を描いたものだ。

この豊信の息子が宿屋飯盛という狂歌師名をもつ石川六樹園雅望で「しみのすみか物語」や「都の手振り」で知られ「恋のみなと」という艶本もあれば「春窓秘辞」に馬琴、京伝、三馬など十二文人と秘蔵の手稿を持ちよって一本を作るような好事家振りをみせている。瓜の蔓に茄子びはならぬ、この親にしてこの子あり矣であろう。(鮭)

浪人街道 (166)

木村荘十　野口昻明画

旅の空(六)

「目に青葉、山ほととぎす、はつ鰹…これからの旅はようがすぜ…それに、姐さんのような仇っぽい方となら、落ちゆく先は九州さがら…日本の果までもお供したいね」

吉原を立つとき、男芸者の一平がそういって、

「そんな呑気な旅じゃァねェんだぜ」

と、大和屋に叱られていたのを想い出す。

(ほんとに誰か連れを作ってくれればよかった)

美代吉は、わざと粗末な旅仕度、手拭で、顔もよくは見えないほど髪をつつんでいたが、匂う色香はかくしきれなかった。

心細い旅…茶屋の座敷なら、どんな御大身のお武家でも、酔いどれでも、身についた色気と芸のお蔭で、何とでも、その場をさばいて、人を怖いとは思ったことのない美代吉ではあるが、初旅の、右を見ても、左を見ても、見知らぬ人ばかり、駕籠屋、馬子も旅籠屋から旅籠屋へ、顔見知りの者ばかりを頼んで貰ったが、それでも、ふと、この道は寂し過ぎる、街道を外れて、何処かへ連れていかれるのではないかと思うと、そっと、懐中にかくして持って来た、懐剣に手がいくのだった。

踊りの振りつけと、芝居狂言で見た、武家女の、守り刀の持ちようしか知らぬ身でと、自分でも時時、おかしくなるが、他に頼るものもない。

今も、美代吉は…今朝、霧の濃い利根川の渡しを渡った頃から、彼女の駕籠の後になり、先になって離れない浪人風の若い男に気がついて、それが気になって仕方がない。

(なんだろう?)

駕籠にゆられていると、遠く房総の山々が紫にかすんで平原は見渡すかぎり青々と、そこ此処の森は緑が萌え、全く目に若葉の気持よさ。

うとうとと、ねむ気のさすほどであったが、気になり出すと、景色どころではなかった。

全く、まだまだ旅は物騒で、飲食の用心はもとよりのこと、大刀をたばさんだ武家でさえ、見知らぬ道伴れ…山だち、辻斬りの用心から、宿については、畳の下の調べ、蚊帳の内の寝様から、宵に寝た場所を替えて、壁に添って眠る心得、女、船頭、馬方の扱いまで旅の心得を事細かに説かれたほど、色々の危険があったのである。

美代吉は、こんなことなら、自分も、男姿になればよかったと思った。

けれども彼女は綾の若衆姿を見ているのでその真似をするのは厭だった。

何故だか分らないが、厭だといったら厭なのである。

(あたしも苦労するねェ)

この広い世の中に、啓之助さん一人が男じゃァあるまいし、しかも一度だって、わけがあったというのではなし、あんな野暮ったい啓之助さんにほれてさ。

(だらしがないねェ。しっかりおしよ、美代吉姐さん)

自分で自分をわらったが、その時、ふいに駕籠がとまって、「な、なんです」と駕籠屋のおびえた声が聞えた。

24日(火)　ラジオとテレビ

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶予供のシンプン❷ちえのポスト　柳内達生他 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇今日の市況 30 愛僧機講座　富村正春 40 青いバラ　谷沢信雄	10 東西こぼれ話　小金治 15 楽団南十字星 25 ドレミフア・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 東京マンボ　歌・星野	00 劇「ポツポちゃん」 20 劇「なんばん太郎」 35 歌謡百貨店◇相撲特集
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 話の泉　堀内敬三　徳川夢声　山本嘉次郎ほか	00 プロコフイエフ作曲ピアノ協奏曲第3番 30 明日の農民「村から村の青年へ」	10 録音ニュース 20 パイプオルガン松沢宏 30 落語❶猫の災難　馬楽❷芋俵　柳枝	00 録音ニュース 10 私の東京・ぼくのパリ 30 お国自慢のど自慢(北陸大会)笠置シヅ子ほか	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ峰尾義夫 30 歌のアルバム　榎本美佐江　生田恵子　三浦洸一
8	00 青空の仲間「五月晴の巻」榎本健一　織金四郎 30 民謡を訪ねて　小梅　鈴木正夫　相馬節ほか	05 きようの国会から 30 ラジオ家族会議「愛情について」金森徳次郎　森田たま　伊藤昇ほか	00 歌　キゾン　釜范　千秋惠子　渡辺弘と楽団 00 歌謡曲　林伊佐緒　惠ミチ子　音羽美子　照菊	00 家庭音楽会　浅倉アナ　三味線豊吉　高山正彦他 30 連続講談「徳川家康」第五十二回　宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿　青山京子　久保明　三木鮎郎 30 劇「ほらふき騎士」森繁久彌　千葉信男　小沢栄
9	05 ニュース解説平沢和重 15 劇「源義経・ぴるしやなの巻」岩井半四郎ほか 40 小作料引上問題の波紋	00 音楽のおくりもの　喜歌劇「なつかしきウイーン」高木清　栗本尊子　栗本正　池田弘子ほか	10 浪曲天狗道場　前田勝之助　相模太郎　池谷アナ 40 小唄「夏近し」謬胡満喜　田村千惠ほか	00 歌うバースデイプレゼント　岸井明　釜范ほか 30 ❶漫談「お経のレコード」周一❷落語　円馬	00 浪花節「一本刀土俵入」梅中軒鶯童 30 リズムラプソデイ　ゲリー・ガリアンほか
10	15 ドイツの軽音楽集 40 芸術よもやま話　志賀直哉　尾崎一雄	00 ❶初級国語　鳥山榛名❷上級解析(Ⅱ)山崎三郎 45 気象通報	05 今日のニュースから 15 劇「新選組」木村功他 30 ドン・コサツク合唱団	00 大学受験春期基礎講座和文英訳　J・Bハリス 30 解析(Ⅱ)戸田清	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 35 劇「緋牡丹記」轟夕起子　真木恭介ほか
11	10 エチオピアの生活 20 小手指ケ原　尾崎喜八	05 共同仕入の実際 20 心電図の臨床桂田良精	10 長塚節抄　朗読　杉山徳子　語り手　桑山正一	00 録音「病と闘う人々」 30 ドビユツシーの三重奏	15 夢のいざない 40 デ杯戦と日本熊谷一彌

各地で好評!　日米テレビ

テレビ　★NHK★ ◆6・00 童謡　大竹嬉子◆6・30 漫画川柳風景　抜天・哲男◆7・10 ジェスチユヤー　石黒敬七ほか◆7・40 音楽映画「フアイアストーン」◆8・00 大阪産経会館から文楽中継「勧進帳」桐竹紋十郎ほか

★NTV★ ◆6・00 大相撲夏場所ハイライト◆6・10 漫画映画◆6・20 劇「私のお母さん」近藤圭子ほか◆6・50 カメラ探訪「青い眼のお客さま」◆7・30 後楽園球場からプロ野球実況「巨人対広島」越智アナ

★KR★ ◆6・05 短編映画◆7・00 花のある家「イヴの総て」峯夕美子ほか◆7・30 しろうと寄席(ヴイデオ・ホールから)牧野周一ほか◆8・00 KRT舞踊劇場「銃」◆9・00 TVニュース◆9・10 シネマ案内

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問田中佐一郎	8・00 手術後回復期の療養	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 劇「青春のある所」	7・35 放送論壇　細川隆之
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	9・45 婦人経済　益田金六	9・15 ラジオ小説「三家庭」	8・10 お早ようブーちゃん
8・30 趣味の手帳中西義孝	9・30 茶のみばなし椎橋茂	10・10 名作アルバム「めし」	10・40 劇「君ひとすじに」	8・45 お好み歌謡曲
9・15 パン食にむく惣菜	10・30 日本の音「平安の都」	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	9・00 劇「サザエさん」
10・05 けさの話題小田善一	11・30 世界名曲めぐり	12・15 ワゴン・マスターズ	12・00 活動から映画へ	10・00 やりくりチヨ子さん
11・15 朗読「晶子曼陀羅」	11・45 英文研究　荻原兼平	1・30 ドラマ「炎の女」	1・15 漫才　〆子・和子	11・00 連続劇「信子」

東京アクセサリー　時代のかけ橋

○…いかめしい唐獅子の装飾、そゝり立つ古風なシャンデリア、疾駆する観光バス、だが行く人はふりかえってみようともしない—というのが最近の日本橋である、慶長八年に徳川家康がこの橋を建て、そのたもと（室町寄り）が東海道、中仙道、日光街道…など江戸を結ぶ諸街道の起点になっていたことなどは、いまや知らない人が多い、「武江年表」によれば「橋の上の往来は貴賤となく、絡繹として間断なく又橋下を漕ぎつたう漁船の出入り、旦より暮に至るまで暾暾としてひしめく…」とあり、付近に旅行具、荷馬の装束を売る店が並んでいたと書いている

○…この橋はたびたび焼けて明治四十四年三月に現在のアーチ型石橋が作られた、当時としては破格の工費五十一万二千八百九十円をかけ、装飾は妻木頼黄工博が担当、開通式には朝野の名士多数が参列して山車や手古舞がでて黒山の人だかりで、明治時代随一の美橋として当時の"モダンガール"が橋の欄干に頬杖をついているスナップ写真はしばしば新聞紙面を飾った、その後、こゝはかの数寄屋橋のように多くの「君の名は」族が逢引きの場所として"新しい時代"の"自由恋愛"の話題を提供してきたのだった

○…つまり、そのころは橋のたもとのほの暗さが、親に許されぬ恋人同士の待合せ場所としてピッタリだったのだろうが、いまのように街の真中でも、彼女の腰に手を回して歩くなんてのが出現しては、うっかり佇もうものなら夜の女に間違えられるとあって、夜の橋上は全く閑散、そして、古風なシャンデリアだけが、古き、よき、明治の御代のロマンチシズムを想い出しているかのように、静かに光っている

【写真は日本橋の人通り】

薬局を装うポン窟
チクロパン二万五千組流す
義人党一味六名逮捕

警視庁保安課衛生係では廿四日朝六時十分台東区浅草日本堤三の三"ギク薬舗"＝経営者菊地滋(三七)＝と同区浅草田中町二の一六無職平野鉄雄(三二)方の二ヵ所を薬事法違反の疑いで家宅捜索、チクロパン百廿二組を押収するとともに菊地、平野と同内妻前畑和子(三〇)の三名を同容疑で逮捕、また菊地方で花札賭博を開帳中の同区浅草日本堤三の三飲食業正満勇三(三三)ら三名を賭博現行犯で逮捕、場銭四千八百円を押収した

調べでは菊地はヒロポン、チクロパンなどを山谷のドヤ街や吉原特飲街に密売する暴力団「義人党」の大幹部で、二年ぐらい前から密売していたが、もぐりのため製薬会社から仕入れる場合ブローカーの介入があるため儲からず、薬局の名で仕入れれば儲かると考えさる三月若い女の薬剤師を管理者として薬局を開業、同薬局の名で堂々と大阪の大七製薬からチクロパン一組六十円で二万五千組仕入れそれを菊地の兄弟分「義人党」幹部の平野と共謀「義人党」の一味を通じ一組二百円ぐらいで吉原や山谷方面に一手販売していた、同方面のヒロポン、チクロパンなどの密売者はほとんど「義人党」一味で占め、儲けを独占していた

「義人党」は昭和廿三年の団規令により解散された右翼系の暴力博徒団体「武蔵屋一家義人党」がさる廿八年ごろから復活したもので、バクチのテラ銭だけで生活できぬところから同年暮ごろからヒロポンなどの密売を主な収入源としてきたもので、吉原、山谷を縄張りにしていた暴力団でもあり、さきに「義人党」は谷中署などから手入れをうけたこともある

菊地、地検で取調べ

亀有署の捜査本部は廿三日夜脱獄死刑囚菊地正(三八)を加重逃走罪で書類送検したが、廿四日午前十時拘留訊問を行うため東京地検に身柄を移して黒崎との通報事実、金ノコの入手ルート、逃走径路など脱獄事件の核心を追及した

なお菊地の身柄は訊問が終ればただちに本部に留置、地検側の訊問結果をみて同夜からさらに事件の真相を追及する

志村に自動車強盗

廿三日夜九時五十分ごろ板橋区志村長後町二ノ一三先で同区小豆沢一の三志村タクシー運転手野沢勝雄さん(三二)は赤羽から乗せたいずれも廿七、八歳作業服を着た二人連れにいきなり首を絞められ料金百七十円を踏倒された

飲み相手を刺殺　川崎

【川崎発】廿三日午後十時ごろ東京都渋谷区幡ヶ谷東日本交通タクシー運転手関谷登さん(三三)が川崎市中島町一の五三先を車で通行中道路脇に男が胸を刺されて倒れており、傍に男と女が呆然と立っているのを発見川崎署に届出た、刺された男を近くの川崎病院に収容したが間もなく死亡した

同署で調べたところ殺された男は同市堤根二二五簡易宿泊所ほてい屋内無職長沢求幸さん(三六)で、現場にいた女は同人内妻本間恵子さん(三〇)とわかった

二日前郷里の福島から長沢さんを頼って上京職探しをしているうち同市中島町一の二九八簡易宿泊所「白ばら荘」内無職武井福之丞(三二)と知合い、同夜同市中島町一の四九六飲食店浅利房子さん方で三人で飲酒中些細なことから口論となり、恵子さんが便所に行った隙に武井が同家の出刃包丁で長沢さんの胸を突いて死亡させたもの、同署で武井を殺人の疑いで取調べている

盗んで入質百万円
上野職安員ら二名捕う

王子署では廿三日夜までに台東区浅草田中町二の二簡易旅館正野屋止宿無職江原富士雄(三二)を窃盗の疑いで、同区浅草山谷三の四簡易旅館栃木屋止宿上野職安玉姫出張所連絡員高橋秋夫(三二)を故買の疑いで逮捕した、調べでは二人は昨年十月ごろ山谷のドヤで知合い、高橋が職安の連絡員で数度の入質も疑われないところから窃盗を計画、さる七日午前九時半から午後五時半までの間再度にわたり渋谷区上通り一の二五会社員川尻道男さん(三〇)方に侵入、ニコン新型、スーパーセミイコンタ写真機各一台など十万円相当を盗みだしたほか、昨年暮から墨田、文京、北、渋谷を中心に都内一円の住宅専門に、わかっただけでも六十点、時価百万円の盗みを働いていたもの

三つ揃い洋服の場合はチョッキだけ残すという念の入った手口で、手口は江原が盗み専門で、高橋は江原の盗品を捨て値で買い入質、昼は何くわぬ顔して勤めていた

赤羽でヤミ米手入れ

赤羽署では廿四日午前四時半から午前九時までの間、赤羽駅で上り東北線二本、信越線二本計四本の列車に一斉手入れを行い、板橋区板橋四の一四〇〇無職朝鮮人金貴年(四七)ら七名を食管法違反で逮捕するとともに米百余俵を押収した

エムさん　石川進介　172

キャッ

たすけて

いらっしゃいませ

ホテル

張切る夏物戦線
今年こそ冷夏の償い
"手控え"乍らも汗だく生産

ことしの梅雨は早めにきて早めに明ける—とお天気相談所の予報とあって、いまや夏物商売の業者は生産増強やら荷造り発送に大わらわ「昨年の冷夏異変にこりてるんで、ことしは手控えています」とはいうもののいずれも我が世の春ならぬ"我が世の夏"到来にニコニコのエビス顔、そこでビール、ゆかたをはじめ夏物商売の胸算用をさぐってみた

ビール　年産二百万石の大半は六、七月の二ヵ月でさばけるとあって、各ビール会社は「早く梅雨があけるようテルテル坊主でもぶらさげたいところですナ」とおっしゃる、さて、ことしの傾向はアベックや女客のビール党の増加だそうだ、統計によるとナマ愛好者は、廿代の男六〇%、廿代の女二三%、その他一七%…となっている、とくに御婦人方に人気のある獅子文六が某婦人雑誌に「女性とビール」なる一文をものしてからというものは異常な関心がもたれているそうだ、だが、各会社とも口を揃えて嘆くのは税金の高いことで、試みに各国のビール税をみると、本場ドイツ(西独)で一石あたり二千円前後、世界一の生産国アメリカ（約六千万石）で約五千円、フランスでは八十一円、これに対して日本は何と二万円、つまり一本百廿五円のうち七十円廿銭ナリの税金を泡と共にとばしているわけだ、そこでいままで生産量約一割の小ビン（七十二円）が二割近くまで生産が増えてきており、「百円以下でビン詰が売れるようにしてくればビール税の総額はいま以上にしてみせます、いまのように高くてはなかなか売れない」と溜息をつくのである

【写真は㊤織物問屋はゆかたの街造りの真最中—堀留問屋街にて＝㊦大童わのビール生産＝吾妻橋A工場にて＝】

ゆかた　八月の末にはつぎの年の柄ぎめをして、大寒のころに発表会を開くというゆかた商売も、今年は発表会が悪評で二回、三回とやり直し、やっと展示会にこぎつけたという、ゆかたが湯上り着から訪問着の代用品になったのはこゝ二、三年の特色だが、ことしは"ぼかし染"という白と紺の色合が画然と染めわけていないものが流行という、

肌着類　昔は春夏秋冬にわかれた肌着も戦後は重ね着の傾向で夏物下着の売行は一年中かわらない、とくに女性肌着はスタイル重視からナイロンなどの薄物がもっぱら、型は十年一日のごとく変らないが、日本女性の性にあわないコルセットの変型として「総ゴム編みメリヤス製のブラジャーとコルセットを一緒にしたものが受けるでしょう」とデパートでは力をいれている

その他　ブラウス、既製服などには、ゆかた同様女優のプロマイドを付けて売っているが、この方法がバカにならず、プロマイド戦術はまだまだ続く模様、帽子、ハンドバッグも型は一応落着いてきて、昨年のクーリー・ハットやバケツ型バッグは上品さを加えて再現したがともに期待薄といったかたち

"教え子総理"に大満足
恩師佐伯翁、院内に鳩山さん訪問

○…「鳩山君、元気で頑張ってくれ」と、カラリと晴れあがった廿四日朝早くから総理を国会内大臣室に訪れた老人がある、広島県廿日市町々長佐伯好郎さんという八十五歳になる老人がその人、佐伯さんは鳩山首相が東京高等師範付属中学在学当時に英語を教えていた大恩師、時に鳩山少年は十三歳佐伯先生は廿五歳の青年教師だったが…、時移り人変り先生はその後景教の研究で文学博士、今度も京都の同志社大学でローマ法の特別講義のために東上したついでに東京まで足を延ばしたもの

○…佐伯さんはこれも教え子の参議院議長石黒忠篤氏（緑）の先導で午前八時四十分大臣室に入ったが、鳩山さんと会うのは去る一月鳩山さんが全国遊説のため民主党総裁として西下したさい、広島駅頭で十五年ぶりの会見をしてから約五ヵ月ぶり、今度は場所も鳩山さんの地位も違い同氏も新な感慨にひたったようだった

院内に鳩山首相を訪問した佐伯先生⊙一人おいて石黒氏、右は松本氏

ふし穴　新橋に"朝パン"

きょうは新橋で見聞したことを三つ—

△…**安くビールが飲めること**　七時半を境にビールの値が変るちかごろキャバレーなどで、夜店がふえているが、その一つのN店の客にきいたこと、こゝはチケット制で、七時半以前はビール一本百五十円、以後は二百七十円にハネ上る、そこで七時半すこし前に行って、二人連れなら一ダース分のチケットをすぐ現品化し、テーブルの下に"貯蔵"してしまう、そうすれば、七時半からの本営業になってもあわてることはない"貯蔵"をしておかぬと、チケットを二百七十円のものと切りかえられてしまうのだ、つまり一ダースとすれば、すぐ"貯蔵"すると「千四百四十円がトコ得するワケです」と、その客はニタリ

△…**ニンニクのない餃子のこと**　烏森口の中華料理店Rの主人W氏は中国人だが、餃子（ギョウザ）にかけては知る人ぞ知るその道の名手で、都内有名店の主人にはW氏の指導を受けた人が多い、先夜W氏大いに語る「とにかく困りますよ、餃子にニンニクを入れてるのが流行してるけど、あれは間違いです、元来餃子にニンニクは入れないもの、それがこのごろのお客さんは、お前のとこの餃子はニンニクが入ってないからニセ物だと怒る客やら、餃子を食べるとニンニク臭くなるから…なんて不当に敬遠するお嬢さんもあって、こっちはとんだとばっちり…」

△…**街娼は夜だけではないこと**　駅前の国会行きの臨時バスの停留所あたりに、朝九時ごろのラッシュ時に朝パンが立っている、交渉すると近くのドヤに同行してザービス、料金は七、八百円、なぜ朝立っているかといえば、彼女らは近くのキャバレーなどに勤め、前夜遅くなって終電を逃したり、小遣いがほしくなったりしたものだそうで、いわゆるパンパンではなく、つまりノンプロ、帰りは昼飯を共にするか、映画に誘えば、夕方の"本業"のはじまるころまで付合ってくれるそうだ、駅に降りた時、フイとお勤めが嫌になるサラリーマンなどがお客だ—とはクツ磨きのおっさんの弁（黄）

"天覧"に人氣沸騰
国技館、早朝から札止め

夏場所大相撲十日目の廿四日、天皇陛下が初めて蔵前国技館で大相撲をご覧になるというので、この日の土俵を見んものとファンは早朝からつめかけた、午前七時から売出した当日売の入場券は、八時すぎには早くも売切れ、諦めかけたファンがヤミ切符を探せば、協会は拡声器を通じて「どうぞお引取りのほどを…」とアナウンスを繰返す

中盤戦の土俵は、九日目横綱陣が総崩れしてます〳〵興味を呼び、一勝二敗の時津山株があがる、幕内最古参の若瀬川は、この日大晃との対戦で名寄岩（春日山）に次いで幕内五百回出場を記録した

大相撲夏場所星取表

（○勝　●負　□不戦勝　■不戦負　や休）

【西】	【東】
[illegible]	[illegible]

夏場所十一日目取組

（東）	（西）
二所錦	栃ノ森
福井山	鶴美山
鶴波	松恵山
大土崎	鯉ノ勢
二豊山	森ノ里
増巳山	玉風
筑後山	伊勢錦
岩風	八染
白雄山	秀錦
小野錦	大田山
時錦	神生山
常錦	七ツ海
東海	豊ノ花
那智山	神雷
松井	出羽花
前ケ潮	吉井山
太刀風	前ノ山
秀湊	起雲山
平鹿川	楯甲
剣竜	大竜
＝中入り＝	
福ノ里	緋縅
大瀬川	鬼竜川
清水川	若羽黒
白竜山	泉洋
栃光	芳野嶺
大晃	星甲
平ノ戸	大蛇潟
若ノ海	神錦
桜国	潮錦
鳴門海	大天竜
国登	出羽湊
常ノ山	大昇
広瀬川	二瀬山
出羽錦	北ノ洋
清恵波	島錦
若葉山	宮錦
玉ノ海	大起
羽島山	若瀬川
鶴ケ嶺	若前田
成山	時津山
琴ケ浜	安念山
双ツ竜	信夫山
大内山	松登
千代山	若ノ花
鏡里	三根山
朝潮	栃錦

あすの好取組三番

大内山—松登　松立合いに思いきりぶちかまし左を入れてガブれば勝味の遅い大内はあぶない、大内立合いぶちかましを叩く手もあろうが、下手にいなせばかえってつけこまれる、とにかく大内突っぱりきれない相手だけに、なんとか右上手でもひければしめたもの

朝潮—栃錦　栃左で前褌、同うづけして右で脇みつをとれば絶対、しかし朝も捨身一番突っぱり押したてるだろう、突きあっているうち朝右上手に手がかゝり左筈で押して出ると栃苦戦となろうが、栃持前のゲンワク戦法に出ると相撲の若い朝はゴマかされる（吉川）

【後楽園】

桜赤にむれたサクランボが初夏の味覚をそゝるように廿五日から（六日間）始まる後楽園競輪のチャンピオン・レースもファンの興味を呼ばずにはおかないいずれも名うての強豪なので激戦は必至だが、優勝最有望はいまめきめき名を売り出してきた香川の佐藤和で、そのスピードの鋭いことはまさに天下一品、さきの川崎桜花賞にみせた上り12秒1の驚異的タイムのまえには誰れもがカブトをぬぐ始末、これに次ぐのが昨年全国ダービーの覇者、松本勝、横綱格山本清、それに関東のチャンピオン植村央、かつての競輪王高倉登、好調の波にのる平林己など

このほか大レースには絶対缺かせない群馬の荒武者阿久津開、差脚よい宮本らもをる、ともあれ実力紙一重の大豪ばかりで勝敗はその日のコンディションが大きくものをいってこよう（亜雷京一）

独眼灯

○…真っ白い雀がつかまった　きのうの朝十時ごろ新宿区柏木二の五三四川上一雄さん（三七）の庭先に白い仔雀が三羽飛んできてピーチクピーチク遊んでいた、あまりにも珍しいので網をかけ一羽を生どりにしたもの

○…上野動物園に電話できいたところ純白の雀が三羽もいたとは全く珍しい、大抵どこかに黒か茶いろがあるのだが…原因は放射能とかなにかの突然な変異の影響でしょうとのこと…そこで川上さんは瑞徴があるようにと同夕刻白い雀を放してやった

【写真は生捕られた真っ白な雀】

松戸競輪最終日成績

◇第一B（千）①大島押1分31秒9②緑川久大差③伊藤正（単）600円（複）110円110円220円（連）④—③680円

あすのスポーツ

△プロ野球　巨人対廣島（七時、川崎）毎日対大映（二時半、駒沢）△東都大学野球　中大対學大、駒大対農大（零時半、神宮）△プロ・ボクシング　ウスマン対沢田八回戦他（六時半、京橋公会堂）△アマ・ボクシング　関大リーグ＝日大対中大、立大対法大（五時半、日比谷）△女子野球　京濱対岡田、三共対Aワン（一時、東生）△大相撲夏場所十一日目（九時、蔵前）△競馬　浦和（零時半）

中野並助氏（元検事総長）廿三日午後五時卅分港区芝白金今里町七七の自宅で心臓麻痺のため死去七十二歳、群馬県出身、告別式は廿七日午後二時から三時まで青山斎場で行う

墨田で四棟

廿四日午前零時半ごろ墨田区業平橋三の四木村商事会社（責任者木村嘉夫氏）方から出火、隣のソバ屋荒木末夫さん方など木造平屋一部二階店舗、住宅四棟五十坪を全焼した、原因は本所署で調査中

品川の火事

廿四日午前三時ごろ品川区北品川一の二二屑鉄業朝鮮人、具夏商さん（三七）方作業所から出火、木造平屋同作業所一棟八坪を全焼した、品川署で原因調査中

続 情炎の千代田城 (126)

岩崎栄 作　寺本忠雄 画

さみだれ(十)

その日から五日。峠の茶屋に臥していた半兵衛は、片足を投げ出した座り方で、起き上っている。頭も腕も脚も、繃帯はみなとれて膏薬だけ貼りつけている。もう二、三日もたてば、すっかりもとのからだに戻るらしい。たいした怪我ではなかった。

お静と千代太郎、この二人もやはり、ここの別間に泊まり込んでいる。お静は親切に介抱し、千代太郎は毎日、山の芋を掘りに行ったり、渓谷で山女を釣って来たりしている。

かたき同士が、まるで一族か、親友のような関係に置かれているのだ。妙な状態になったものである。

ここにかつぎ上げられ、介抱をうけて正気づいたとき、二人の前に半兵衛は完敗を自認し、思いも寄らぬ好意を感謝した上で、

「負けて悔なしでござる。気持よく天下晴れて死ねます。どうかこの首を討ち落していただき申す。あの笠の紐と鞘の中にあるもの、どうかお持ち去り願いたい」

そういう挨拶をしたのであったが、二人は首を振って聞き入れなかった。

「江戸っ子は、死んだ魚ァ食わねえんだ」

千代太郎が、おやじゆずりの啖呵である。

「おめえさんを、死んだ魚にたとえるわけじゃねえが、いってみれァ、いまのところ片輪同然の怪我人だ。喧嘩相手などになれァしねえや。こちとらァこれで、イキてピチピチしてる相手でなきゃァ、敵にして闘う気持にゃならねえんだ。ねえそうじゃねえかね、おじさん! おめえさんだってお武家だ。お武家の方でも武士道ってことをいうじゃねえかよ。傷ついて倒れてるものを討って功名顔をするような武士はいねえ筈だ。だからよォ、おいらァこの姉とも相談してるんだ。おめえさんがも一度生き返って、甲府に突っ走るまで、一生けんめいに介抱しながら待とうよってね」

半兵衛はひどく感動し、ウッと涙がつき上げそうになったのをこらえて、それっきり何もいわずに今日まで彼らの好意をうけて来たのだった。

梅雨も過ぎたのか、朝からスガスガしく鮮麗な太陽が、深山の青葉を燃やしている。もう気の早い蟬の声が聞える。

傷が癒るにつれて、体に自信がついてくると、半兵衛は本能的に使命へ突進したい衝動に駆られて来た。今朝から何度も、部屋の外を歩いてみて、いまからすぐにでも飛び出せそうだと独りで頷いたのだ。

しかし、ここを逃げ出す気にはなれない。先方では暗に、逃げろ逃げろと促しているようなそぶりを見せる。

「おめえさんが早くよくなってよ、おいらの知らねえ間にズラかってくれなきゃァ。そこんとこから二度目の勝負が出発するんだからなァ」

きのうか、千代太郎が笑いもせずにいったことばが思い出される。そうした気持でいる相手だ。よけいに逃げられない。

何時間もを、じっと考え込んでいた。いつか外は暮れかけている。

お静と千代太郎が、どこからか帰って来て、部屋に現われた。お静が明るい調子で、

「おや、お起きになって…」

「足ならしに歩いても見ました」

千代太郎が、

「もう大丈夫ですね。じゃァ晩めしにゃ、一ぺえ、ドブロクでもやりますかね。ちょうどいいや、でっけえ岩魚を五ヒキも釣って来たからね、あいつを塩焼にしてよ」

「あたしがする。ここのうちの人たちに頼んだって、ろくなことしやしないから」

そのひと そのとき ―20―

芥川也寸志

【とき】男の月の五月某日、午前十一時だが、夜遅い彼はいま起きたばかり

【ところ】田園調布の住宅地、門札は作曲家のそれらしく、五線を刻んだ板の上に浮き出している、門の前にクリーム色ツー・ドアの54年型スチュードベーカー、彼の持ちものである

(車)の話から始まった「車の道にいわせるとね、形で選ぶなんてのは素人なんだそうだよ、だけどね、こいつを買ったのはレーモンド・ローウィ(アメリカ屈指の商業デザイナー)のデザインが気に入ったんだ、随分いろ〱当ってみたが結局これに決めた」自動車会社も見て歩いたし、求車広告も出した、ある外人がドイツのポルシェを見せに来た、すでに買った後だったがその外人に試乗させて貰った、フォルクスワーゲンの名設計者ポルシェ博士がスポーツカーとして造ったもの性能のいいところを見せようという訳か、くだんの紅毛氏、交叉点では五台もつかえてたやつを青が出ると忽ちピュッと抜く繁華街では スピード 違反ものかは、時速百廿キロでスッ飛ばすという具合「わきに座ってたんだがいやもう、まるでコニーアイランド・シヨウみたいな命がちぢまったよ」

毒舌も相当なもの

お気に召す"ゲテもの映画"

(ス)リルと冒険はお好きらしい「ぼくはゲテモノ映画が大好きでね、"月世界探検""宇宙戦争"なんてのは二回もみた、"火星超特急""地球最後の日"なんてのも見逃さなかった、こないだは"スピードに命を賭ける男"が面白かったな、あゝいうのは立見でも苦にならないよ、時間を忘れちゃうからね、恋愛映画なんておよそツマランよ、他人ごとだから同情がもてんね、退屈してすぐ眠くなっちまう、それからいゝのはアフリカやアラビアものだな ターバンかなんか巻いた女がヘソ出してクネクネ踊るのなんか楽しいよ」日本では最近何といっても"ゴジラ"ものがお気に召したそうで、感激(?)の余り東宝へ行って「なぜこれの音楽をぼくにやらせなかった」と抗議したというオチまで付いている

といってマトモな映画が嫌いなわけでもない(か)終戦直後再映された「チャップリンの黄金狂時代」は学生時代だったが、朝の第一回から最終回まで何と六回ぶっ続けで見たそうだ、「チャップリンがエヘへと肩をすくめて笑うのは何度みても嬉しいよ」昨年ヨーロッパ、東欧、ソ連、中国を回ったが、ソ連のバレエには感心した「プロコフィエフの"ロメオとジュリエット"でウラーノワが踊るんだが、パントマイムなど羞恥のしぐさが何ともいえずにいいんだね、ソ連のは西欧や日本のと違って凄く肉感的なんだ 前々からバレエはもっとエロチックにというのがぼくの持論だったが、ロシアのを見て確信が持てたよ」

いま彼は一年がかりでバレエ「竹取物語」を作曲中だが、日本のバレエ界の現状については「ひどいもんだね、日比谷公会堂の抽セン(使用申込者が多いので、こういう方法を採っている)に当ったから公演をやります、なんていうのがあったりするんだからね、才能もへったくれもないんだ、金があって多額の寄付でもすりゃあ、不格好で白色レグホンみたいなのがチャーンと"白鳥"になっちまうんだから…」と毒舌をふるった、そういえば日本版"白鳥の湖"を"鶏鳥のドブ"と酷評したご仁があったっけ

凄味のある「一つ家」

かたばみ座二の替

○…再建策も一応軌道に乗り、狭い小屋ながら本拠が当分確保出来たのは幸いである、元気を出して小芝居のため尽してもらいたい、地元の観音様の三社祭に因んで「一つ家」が出ている、籠車の鬼婆アが、泊った若衆を殺そうとして包丁をとぐあたり凄味もあふれて上乗、小主水の若衆、右綱の娘も素直でよい「鰻谷」は竹若の八郎兵衛に鶴蔵のおつま、愛想尽しは低調で引きたゝぬが、殺しになってから竹若の力演に子役鶴江のお半が達者にからんで活気があり、亀音の弥兵衛、秀蝶の母おきくも得がたい脇役である

○…舞踊に不適な狭い舞台を十二分に活用した「吉野山」は豪華けんらんさはないが、鶴蔵の忠信が久しぶりに縦横ぶりを見せ、竹若の静とともに興味ある試作品、蛇使いの女芸人(小主水)が男に捨てられて、蛇をつかって恨みをはらす執念の恋を扱った「蛇遣いの女」四場はちと泥くささが目立って冗漫である、廿九日まで(杏)

【写真は「吉野山」の鶴蔵】

十八歳未満の"入場遠慮" 十年ぶりに復活

成人向映画

都興組はでこのほど、六月一日から審査が実施される青少年映画委員会による青少年向映画の推薦及び成人向映画の指定に対する協力方法について協議した結果、成人向に指定された映画の上映に際しては各劇場入口に「十八歳未満の入場を遠慮する、但し保護者同伴はこの限りにあらず」と書いた長さ一尺五寸、巾四寸余りの恒久的な札を作成して表示することになった

こういう表示が復活するのは、終戦で映画法が廃止されて以来のことだから十年ぶりということになる

浅草六区歩る記

天気が良すぎてもダメ、雨が降ってもダメ、まことに興行界というところはむずかしいものだが「浅草まつり」で賑わう浅草六区もご多聞に洩れず、各劇場の支配人達は変りやすいきょうこの頃の空模様を見上げては一喜一憂している、さてその六区から近頃の話題あれこれを拾ってみる

普通劇場に転向

來月から"鈴鳳劇"を長期上演 ストリップの公園劇場

▽…公園劇場が丸三年余にわたるストリップ興行に終止符を打って、六月から大衆演劇に転向することが本決りとなった、同劇場は昨秋ストリップを一時中止して舶来寄席というタイトルを掲げたが、結局ストリップ攻勢に抗し得ずいつの間にか元通りのストリップになっていたもの、最近では女子プロレスリングを入れたり、女相撲を舞台に乗せたりしていたが、このほど松竹首脳部の意向から遂に経営不振を表面の理由として解散と決定した、その裏面には芝居と映画で売っている大松竹が何も肩身の狭い思いをしてまでストリップをやる必要はない、しかもその利潤は至って薄く、危険を冒してまで続ける価値はないという意見が強いこと、或いは昨秋の例のように支配人が検挙された場合などこの身分の保証を松竹がどの程度するかということに対して組合が厳重に松竹本社に申し入れるなど、相当複雑な内部事情も反映しているものと見られている

同劇場では、さしあたり今月一ぱいでストリップを打切り、来月初旬からは花月劇場の映画転向によって浅草に登場のチャンスを失った大江美智子一座の 鈴鳳劇 を上演、これを年に六ヵ月とあとの六ヵ月を不二洋子一座、杉村姉妹一座ほかの女剣劇で運営して行く方針といわれるが、これで事実上は松竹はストリップ界から一切足を洗ったことになるわけだ、踊り子たちには廿二日秋本支配人から事情を説明したが、既にこの噂は数ヵ月前にも伝えられたことがありいまのところ動揺の空気は全然見られない

▽…松竹演芸場に出演中の大谷元子一座は今月一ぱいで打切り、六月は関西方面を巡業する、彼女はデビュー当時大谷春栄を名乗っていたが、春栄ではどうも男性と間違えられるというので元子と改めたのだそうだ、六、七月の二ヵ月は代って中野弘子の蝶々座が上京出演する

公園劇場の女子レスリングと円内上から大江美智子、大谷元子、近藤ニーナ

相変らず客をよぶ女レスリング

▽…ストリップ関係では、例の国際通りの麗人座が表に木札で堂々と「改称麗人座近日開場・代表竹内長生」とハリつけてあるが、一向に開場しそうな気配もない「麗人座創立事務所」を訪れてみると、中年のおカミさんが「いろいろ事情があって、いつ開場するものやらトンと見当がつきません」と無表情に語っていた、そういえば階上の末広亭も四月一ぱいで閉めたままだし、賑やかな国際通りにここだけは文字通り火の消えた淋しさ、土地の所有者、建物の所有者劇場の経営者、それに税務署に裁判所と、第三者に想像もつかないような複雑なカットウがあるらしい

▽…浅草座にまた変り種のストリッパーが現れた、近藤ニーナという廿歳の混血娘で、白系ロシア人を母として新京で生れたという

相変らず吸引力の強いのが女子レスリング、現在は公園劇場とフランス座で競演中だが、どちらも観客の方がすっかり興奮して「殴っちゃえ」「殺しちゃえ」とやっている

おしゃべり横丁

天皇大相撲ご見物 おそれ多いので、パンツとシャツを着せましょう ―相撲協会

山村聰 第三回監督作品 「沙羅の花の峠」決る

山村聰の第三回監督作品が「沙羅の花の峠」(仮題)と決定、日活作品として七月撮影開始する、今度の「沙羅の花の峠」は無医村がテーマで、社会性を持ったローカル調の映画を意図している

「美わしき歳月」文部省特選に

文部省教育映画等審査分科審議会では松竹映画「美わしき歳月」(監督小林正樹、主演佐田啓二、久我美子)を成人向文部省特選映画に認定した、本年度特選映画は「警察日記」(日活)について二本目である

寄席下席

池袋演芸場=小柳、夢楽、伸治、円遊、彰吾・雪恵、今輔、米丸、司郎・喜世美、小文治、正楽、円右

十番倶楽部=円福、柳昇、さくら、可楽、梅 、シャンバロー、離太郎、ひろし・まり、円馬、柳橋

川崎演芸場=三五郎・芳江、小円馬、牧野周一、花島、玉遊、ぴん助・美代鶴、三木助、柳好、円遊

本牧亭=(昼)連山(松鯉改め)貞吉、貞山、山陽(小伯山改め)貞丈、(廿日)講談研究会(夜)寄席大学(廿四日)馬琴会(廿五日)貞花会(廿六日)玉介会(廿七日)文弥奇術たのしみ会(廿八日)桃太郎会(廿九日)

貞花会 廿六日六時、本牧亭、貞花が「小金井小次郎」「伊賀の水月」の二席を語るほか、貞丈、染丸・染由起、円蔵などが出演

募集 ▽劇団演技座=演技部研究生 男女高校卒以上、年齢不問、返信用切手同封の上、履歴書、写真及び短文「私について」を送付のこと、締切廿八日、面接審査六月五日、送付先=板橋区志村清水町二八一演技座事務所

名選 都々逸

石井きんざ選

強がりも別れて淋しいこの頃やつと わかつたあなたの有難さ　高崎・河野彦三郎

嘘は嘘でもあなたに一目 逢いたさはじめてついた嘘　浦和・尾道 通人

無理な願いか知れないけれど どうでも添う気の細帽み　青山・鳥嶋ひろし

一人寝を淋しいなんぞといつては済まぬ 旅じや夜汽車の淺い夢　船橋・今井ちさと

馬鹿な惚れよで指までつめて 別れ話で荷をつめる　鎌倉・井口 静波

◇

甘い男だ呼び出しや来ると 見込んだ女の目が高い　選者

はと笛

▽…日活の丘志摩子は「坊ちゃん記者」から今度は「落日の決闘」に出演しているがあれで彼女は日本舞踊をやらせると花柳流の名取さん

▽…そこでこの六月には白木屋ホールで発表会をやることになったが、この時はお師匠さんの花柳輔蔵をはじめ彼女すなわち花柳輔枝摩、姉さんの輔利江も出演することになった、おまけに近く美空ひばりも同じお師匠さんの門を叩くことになり、来春は歌舞伎座で華々しくお披露目の発表会をやろうと意気ごんでいる、こうなると張り切ったのが彼女で「映画では"落目(おちめ)の決闘"だけど踊りではひばりちゃんの姉弟子よちょいとしたもんでしょう」とはすごい名取さん

【写真は丘志摩子】